

戸畑区のまっり

とばた菖蒲まつり



[6月上旬]

30種2万本の花菖蒲が美しく咲き誇る夜宮公園一帯で開催されます。ステージイベントやバー、蚤の市などが行われます。(夜宮公園一帯)



戸畑祇園大山笠行事

(国の重要無形民俗文化財・ユネスコ無形文化遺産)



[戸畑祇園大山笠競演会 7月第4土曜日]

220年を越える歴史を持つ、国の重要無形民俗文化財に指定されている祇園大山笠行事は、平成28年(2016年)12月にユネスコ無形文化遺産にも登録されました。

日中は格調高く華麗な轆山笠が、夜には高さ10mの提灯に彩られた光のピラミッドに姿を変えます。重さ2.5tにもなる提灯山笠を「ヨイトサ、ヨイトサ」の掛け声で男衆が担ぎ進む姿は、勇壮かつ幻想的です。

毎年7月第4土曜日には、大山笠4基と中学生による小若山笠4基の計8基が勢揃いして競演会が開催されます。(戸畑区役所前)



くきのうみ花火の祭典



[7月下旬]

洞海湾の夏の夜を彩る風物詩として、市民に親しまれているビッグイベントです。この大会のために洞海湾を行き交う船舶を止めて、湾の真ん中に打上げ花火用の台船を浮かべ、そこから大玉10号をはじめとする4000発の花火を打ち上げます。

海上花火ならではのロケーションの良さ、音が痛くなるくらい真上に上がる大輪の花火は見応え十分です。さらに、若戸大橋に仕掛けられた花火「ナイアガラ」は圧巻です。



とばたマップに
関する
お問い合わせ

北九州市戸畑区役所総務企画課

〒804-8510 北九州市戸畑区千防一丁目1-1

TEL (093) 871-2316

https://www.city.kitakyushu.lg.jp



区内のおもな公園

休みの日には、散歩やピクニックに出かけませんか？

美術の森公園

市立美術館周辺の広大な森。木陰に囲まれた遊歩道は真夏でも涼しい風が吹くことも多く、途中に置かれた彫刻とも相まって心地よい散歩を楽しむことができます。



MAP C-4

夜宮公園

戸畑区のほぼ中央にある緑豊かな公園で四季折々の美しい花が楽しめます。6月には30種2万本の花菖蒲が見頃を迎えます。開花時期には「とばた菖蒲まつり」が開催され、市内外から多くの人を訪れます。



MAP C-3

中央公園(金比羅山)

戸畑区・小倉北区・八幡東区にまたがる広大な総合公園で、芝生広場やアスレチックなども整備されています。桜の遊歩道を通って金比羅山頂に登ると、戸畑の街が一望できます。



MAP C-4

都島展望公園

軟式野球場や多目的グラウンド、遊具広場や休憩所などが整備された公園で、丘の上の展望広場からは、洞海湾や皿倉山、高塔山の景色が一望に見渡せます。また、区内屈指の夕日の名所としても知られています。



MAP A-2

戸畑花ごよみ

代表的な花	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
椿												
梅												
桜												
なんじゃもんじゃ												
つつじ												
戸畑あやめ												
花菖蒲												
紅葉												



梅(夜宮公園)



初夏のなんじゃもんじゃ通り

石碑めぐり

戸畑区の道を歩いていると、数多くの石碑があることに気がきます。ここに示すのはほんの一部です。あなたは戸畑区内でいくつの石碑を見つけましたか？

万葉歌碑

「ほととぎす 飛幡の浦に
しく浪の しはしは君を
見むよしもがも」
この歌が詠まれた奈良時代の戸畑の海岸は、白浜に老松が群生する美しい浜辺だったそうです。



夜宮公園内 MAP C-3

しんせん そば 神饌蕎麦耕作地碑

昔、戸畑では蕎麦の栽培が盛んで、この碑は、神饌蕎麦(神饌とは、神に差し上げるという意味)の耕作地に選ばれたことを記念して作られたものです。戸畑が蕎麦の名産地だったなんて驚きですね。



飛幡八幡宮内 MAP B-2

若山牧水歌碑

若山牧水は明治18年(1885年)に生まれ、明治から大正時代に活躍した歌人です。生涯を旅して過ごした牧水は、戸畑の地を3回訪れています。「新墾のこの坂道のすそとほし 友のすがたの 其処ゆり来」[戸畑図書館横]「われ三たび 此処に來りつ 家のあるじ 寂び定まりて 静かなるかも」[戸畑駅前(北口)]



戸畑図書館横 MAP C-2



戸畑駅前(北口) MAP B-1

国境石

かつて、中原の境川を境にして西側が筑前国、東側が豊前国に分かれ、国境扱いには国境石が置かれていました。戸畑図書館横にある国境石は、過去の境川区画整理事業の際に、境川から移されたものです。



戸畑図書館横 MAP C-2



金比羅池 MAP D-4

戸畑の近代化産業遺産

戸畑区には、日本の近代化を支えた数多くの産業遺産が点在しています。一部は今もなお現役で活躍しています。その一部をご紹介します。



九州工業大学正門(旧明治専門学校表門)及び正門守衛所



九州工業大学(旧明治専門学校)は、明治42年(1909年)明治産業界の重鎮であった安川敬一郎・松本健次郎父子によって開校されて以来、今日まで多くの優秀な人材を輩出しています。その重厚な正門は、当時の最先端技術である鉛煉瓦ブロック(溶鉱炉で鉄鉱石を精錬する際にできる副産物)で造られています。また守衛所は、旧松本家住宅や東京駅などを設計した辰野金吾の設計によるものです。正門とともに創立当時から残る建物で、経済産業省認定の近代化産業遺産に選ばれています。

ニッスイ戸畑ビル



ニッスイ戸畑ビルは昭和11年(1936年)に建設され、平成21年(2009年)に北九州市都市景観賞を受賞しました。受賞を機にビルを全面改修し、屋上の無線アンテナや褐色の壁、アーチ型の廊下など、建設当時の面影を復元しました。褐色のタイル張りの外壁に縦長の大きな窓が整然と配置され、近代建築のモダニズムの流れを踏襲しています。

自然遊歩コース

とばた一万歩コース(約1時間30分)

夜宮公園から中央公園(金比羅山)、美術の森公園を巡る戸畑の自然と名所を満喫できるコースです。ゴールの鞘ヶ谷ほたる公園周辺は、5月下旬にはほたるの観賞スポット!



夜宮の大珪化木



珪化木とは、樹木が倒れて地中に埋まり、それが長年の間に化石となったものです。この珪化木は約3500万年前の地層から発見された日本最大級のもので、国の天然記念物に指定されています。



くろがね線(旧称:炭滓線)
MAP C-3

官営八幡製鐵所(現:日本製鉄 九州製鐵所)が操業を開始したのは明治34年(1901年)、その後大正6年(1917年)創立の東洋製鐵戸畑工場を八幡製鐵所が大正10年(1921年)に借り受け、戸畑作業所としてスタートしたのが戸畑の製鉄の歴史の始まりでした。当初は戸畑八幡間は海上輸送に頼っていましたが、昭和5年(1930年)全長約6kmの専用鉄道「炭滓線(現:くろがね線)」が完成し、今もなお、八幡、戸畑の両地区を結び重要な役割を果たし続けています。建設当時は蒸気機関車全盛の時代でしたが、いち早く電気軌道を採用したことが大きな特徴で、なかでも宮田山トンネルのデザインの高さは特に注目されています。



とばた — TOBATA MAP — マップ

戸畑区マスコットキャラクター



戸畑区の魅力をPRしていきます。

よいとくん
戸畑の歴史と伝統をPR

ポンちゃん
戸畑の食文化、みどころをPR

アヤメン
文教のまち戸畑、すみよいまち戸畑をPR

北九州市戸畑区

● みどころ

若戸大橋

洞海湾をまたぎ戸畑区と若松区をつなぐ若戸大橋は日本初の長大吊橋として昭和37年(1962年)に開通し、その技術は後の関門橋や明石海峡大橋などの建設に活かされました。令和4年(2022年)2月に国の重要文化財に指定、同年8月には日本夜景遺産に認定されました。
真紅の橋の姿は、リリー・フランキーのベストセラー「東京タワー」で「まるで東京タワーを横に倒したよう」と形容されています。夕暮れ時、橋の下を渡船がポンポンと音を立てて進む姿はとてもしタルジックです。夏には、若戸大橋を背景に「くきのうみ花火の祭典」が開催され、夏の風物詩となっています。

※ 出典:「東京タワー オカシとボクと、時々、オトン」(リリー・フランキー著、扶桑社)
【ライトアップ時間】 4~9月:19:00~22:00、10~3月:18:00~22:00



戸畑あやめ

イリスサングイネアパラエティートバテンシス
学名: *Iris sanguinea* var. *tobataensis*
草丈が低く、葉陰に可憐な花を付けるのが特徴の「戸畑あやめ」。その学名には「トバタ」の名前が入っています。明治末期まで戸畑区の原野にのみ自生し、その後、絶滅したと考えられていましたが、区内の農園で栽培されていることが分かり、以来、地域の方々によって保存・普及活動が進められています。
4月下旬~5月上旬の開花時期には、戸畑あやめ公園(大谷)・戸畑区役所屋上庭園・「第一警備スポーツセンター戸畑(浅生スポーツセンター)」駐車場出入口・浅生1号公園・夜宮公園などの区内各所の戸畑あやめ花壇で鑑賞することができます。

北九州市立美術館

洞海湾から豊灘までを一望できる鞘ヶ谷の丘にそびえる、双眼鏡を思わせるダイナミックでユニークな建築物です。昭和49年(1974年)に竣工、磯崎新の設計です。昭和62年(1987年)には地元作家の発表の場として別館(アネックス)を増築、また、平成15年(2003年)には小倉北区に分館を開設しました。ルノワール、モネなどの世界的名品をはじめ、油絵・水彩・彫刻・版画などが数多く所蔵されています。
映画「図書館戦争」や「デスノート」などの撮影の舞台にもなりました。
また、周辺一帯は「美術の森公園」として整備されており、さわやかな空気の中で芸術に親しむことができます。



ようこそ、戸畑へ!

戸畑区は北九州市のほぼ中央に位置する、人口約5万5千人の区です。古くは万葉集にも「飛幡」の名で登場するなど、長い歴史を有するこの街は、近代以降、官営八幡製鐵所をはじめとして多くの工場が立地し、また、安川電機の創始者・安川敬一郎によって明治専門学校(現・九州工業大学)が開かれるなど、産業の発展とともに歩んできました。現在は、数多くの学校が立地する文教・住宅地区として、成熟した、落ち着いた街並みを形成しています。
戸畑区にはこのマップで紹介したもの以外にも、たくさんのお見どころがあります。おいしいお店やお気に入りのスポットなどを加えて、あなただけの「とばたマップ」を完成させてください。



● みどころ・グルメ

日松本家住宅(西日本工業倶楽部)

明治期に父・安川敬一郎とともに事業家として成功した松本健次郎が自宅兼迎賓館として建設したもので、国の重要文化財に指定されています。アール・ヌーヴォー様式の洋館と数奇屋造り・書院造りの日本館からなり、洋館は、東京駅や日本銀行本店の設計で知られる建築家・辰野金吾によるものです。敷地内の広大な庭園は、春のつつじ・秋の紅葉の時期にはこのほか美しく、秋の特別公開には大勢の人が訪れます。
平成26年(2014年)5月には、旧松本家住宅の敷地内に遊歩道がオープンしました。遊歩道から旧松本家住宅のアール・ヌーヴォー様式美しい外観も楽しめます。
(時間) 10:00~15:00 (休日) 火曜日、お盆、年末年始
※西日本工業倶楽部催事及び雨天時は閉園する場合があります。
※庭園内には入れません。



旧安川邸

安川敬一郎の邸宅として建設され、安川一族が居住した住宅です。明治末期に若松から移築された大座敷棟などの旧宅や日本庭園が施設の見どころです。平成30年(2018年)8月、市の有形文化財に指定されました。(株)安川電機から建物の無償譲渡を受けた市が整備を行い、令和4年(2022年)4月より一般公開を行っています。令和5年(2023年)10月には第36期竜王戦北九州対局が開催されました。
【入館料】 一般/260円、小学生・中学生/130円
(時間) 9:00~17:00 (休館日) 毎週火曜日
詳細はこちら▶



戸畑図書館

戸畑図書館は、多くの市民に親しまれてきた旧戸畑区役所庁舎の歴史ある外観を残しながら、再整備し、平成26年(2014年)3月にオープンしました。館内には、戸畑が生んだ詩人・宗左近の業績を紹介した「宗左近記念室」が併設されているほか、戸畑にゆかりのある書籍や写真、人物のパネルなどを展示した郷土資料室も設置されています。



戸畑チャンポン

戸畑チャンポンは、「蒸し麺」が特徴で、麺のコシが強く、さらりとした細麺は、とんこつスープとの相性が抜群です。
約80年前に戸畑が日本一の遠洋漁業の基地だったころ、長期保存が可能な蒸し麺を使ったチャンポンが船員たちの間で人気だったことがルーツといわれています。茹で上がり早いので、忙しい製鐵マンたちにも愛され、現在では、区内外に多くのファンがいます。



※呼称は敬称略